



p4cみやぎ 8月研修会報告

オンラインによる p4c みやぎ 8月研修会

8月25日(火)、オンラインによるp4cみやぎ8月研修会を開催いたしました。

研修Ⅰでは、白石市立白石第一小学校の森峻平先生に「校内OJTにおけるp4c研修の実際」というテーマで、話題提供を行っていただきました。また、研修Ⅱでは、3グループに分かれて、「今日の問い」でp4cを行いました。

夏休み明け間もない時期でしたが、29名の方の参加となり、活発な意見交換が行われました。

【研修Ⅰ】

テーマ：「校内OJTにおけるp4c研修の実際」
 話題提供：「校内OJTのこつあるよ！」
 講師：白石市立白石第一小学校
 教諭 森 峻平先生

○なぜ校内研修をしたいのですか？

・担当で仕方なく…上司から言われて…など、無理にやるならやらない方がいい。逆効果になってしまうこともある。

○研修を受ける人はどんな気持ちだろう？

・学びたい、p4cをやってみたいと思う人もいれば、めんどうだと思える人は多い。→どうやったらいいか。

○研修を担当する側はどうあるべきだろう？

ある程度、p4cについての考えを持たなければならない。(セーフティの醸成、拡散的思考等)

○どんなことを意識してOJTを企画するのか。

・質問されたタイミングを逃さない。
 ・職員会議や打ち合わせでのミニOJTなど。
 ・なるべく短く、必要なことだけ。

○白石一小ではどうしてきたか？

①無理やり勧めない。②自分の学級をよくする。③それぞれのp4cがあつてよい。



○どうやって広めていけばよいの？

・担任も一緒に入って、体験してもらう。
 ・授業の流れを見てもらう。
 ・普段から語り合える環境→焦らず、じわじわと。

○先生方にはOJTで何を話すの？

・問いを立てることの大切さ。・先生も対話者の一人。・p4cは新学習指導要領の趣旨に添うもの。
 ・子供たちが慣れるまで2~3か月かかる。
 →焦らず、じっくり、何回もやること。

【研修Ⅱ】

今日の問い：「失敗と成功、どちらが人を成長させるのか。」

[グループA]

○成功・失敗は表裏一体。失敗を繰り返して成功する方法を考える。

○成功の積み重ねが成長させる。失敗はダメージがある。克服するためには、周りの丁寧なサポートが必要だ。

○成功・失敗は結果。結果に行きつくまでのプロセスが大事。

[グループB]

○つまずいたときに、どう乗り越えるかを考えるので、失敗が成長につながる。

○場面によるが、大抵の場合、失敗したらやめてしまう。モチベーションをキープするうえでも成功の方が大事。

○失敗と成功の基準はそれぞれの考え方による。目指すところまでどれだけ頑張れるかが大切。

[グループC]

○時と場合による。失敗をしても、周囲の支えがあれば、成長につながる。

○ほめて育てることを大切にしたい。悩んでいるとき、落ち込んでいるときに許容される雰囲気が必要。それが力を与える。

○本人のとらえ方や周囲の環境にもよる。教師としては、成功体験を大事にしたい。失敗したときのフォローも大事。

HP (<https://p4c-miyagi.com/>)

Mail (p4c@adm.miyakyo-u.ac.jp)